

もうええわ



アヴェニール労務事務所 所長 柿野元博

http://www.avenir-sr.jp

E-Mail avenir4you@gmail.com



編集後記 面倒くさい!?我ら中高齢者

僕は「お笑い」が子どもの頃から大好きです。

年末から年始にかけてのお笑いの番組をいっぱい録画しています。

独身の頃は吉本興業の梅田花月によく通っていました。入れ替えがない時代だったので、開演から終演までいたこともあります。コメディNo.1さんに感動して楽屋まで坂田利夫さんを訪ねて行ったとき「こんなところっちゃいかん」とちゃんと怒ってくれて(^_^;)、それでも許してサインをくれました。「アホの坂田」と言われた人は、僕よりずっと常識人で器の大きな方でした。尊敬する坂田師匠、お元気でいらっしゃるかなあ。(^^)

その時代、吉本とライバルの松竹で人気だったのが「レッゴ三匹」さんだったかと思います。

レッゴ三匹さんといえば、「三波春夫でございます」で記憶されている方も多いのではないのでしょうか。

その三波春夫さんの常套句「**お客様は神様です**」の言葉が「**お客様イコール神**」と誤解されていると、三波春夫さんの公式ホームページに長文で見解が掲載されていることを知りました。

意外かもしれませんが、カスタマーハラスメントの**加害者は、その多くが中高齢者**です。

自身の経験則、あるいはその人の正義感から「〜べき」という理屈を論じて、従業員を困らせる。

ある程度社会で成功を収めた自尊心が高い人が多く「筋論(すじろん)クレーマー」というそうです。

そんなクレーマーやカスタマーハラスメントの加害者の中高齢者の意識の根底には、三波春夫さんの言葉が「お客様イコール神」として刷り込まれているからではないか、とされています。(><_<)

三波春夫さんの事務所の見解からは、真意とは異なる誤解への残念な思いが伝わってきます。



12月13日、改正旅館業法が改正され、状況によっては宿泊施設の事業者が迷惑行為をする客の宿泊を拒否できるようになりました。いわゆるカスタマーハラスメントの対策です。

会社には「使用者責任」があり、従業員を守る責任があります。カスハラ対策として先陣を切った、今回の改正旅館業法が、会社と従業員の皆さんにとっていい方向に向かえばいいのですが、それ以前に相手の気持ちや事情を尊重せずに、自分の「〜べき」を優先する中高齢者の意識が変わらなくてはなりません。

いつも笑顔が印象的だった笑福亭笑瓶さんは、「**人生間違いだらけで間違いなし!**」とおっしゃっていました。たとえ間違っていてもいいやん、という大きな気持ちにさせてくれます。

「**間違わへん人なんかおらん。人は必ず間違い。**」

けど、**間違えた先に何かがある。だから間違いだらけで間違いなし!**」

中高齢者の根底にある「お客様は神様です」の意識を、笑瓶さんの言葉で少し薄めてもらって、

人生の先輩らしく、どうか大きな気持ちで、お店の従業員さんや若いスタッフを応援してもらいたいものです。

面倒くさい中高齢者になってほしくはありませんからね。おっと、これは自戒を込めてネ。(^^)



これからは多様性を尊重する時代。悪意でなくとも「〜べき」という発想は、可能性を潰してしまいます。

大谷選手が二刀流を目指してプロ野球に入ってきた時、名将・野村克也さんは「**プロを舐めるな。俺が日本ハムの監督なら間違いなくピッチャー。**」と断言したそうです。同様に、大谷選手の二刀流を「絶対にありえない!」とする往年の名選手や解説者が圧倒的に多かったものの、当時の日本ハムの栗山監督は大谷選手の意思を尊重し、二刀流の選手として育成しました。プロ入りして10年の今年、大谷選手はメジャーで投手では2桁勝利、打者としてはホームラン王となり、先日メジャーどころか北米スポーツ史上最高額の年俵でドジャースと契約を結びました。プロ野球の原点が、栗山監督がいた球団でなかったら、今の大谷選手は存在しなかったのではないのでしょうか。

とはいえ、僕自身も中高齢者。もしかするとカスハラ加害者予備軍といえるかもしれません。

2024年の僕の目標の一つは、自分の過去の価値観に縛られる「〜べき」を見直すこととしましょう。(^^)

そしてもう一つの目標は「アレ」です。「アレ」といっても優勝のことではありませんよ。

名前が出てこないことが多くなった最近、少しでも「アレ」で済ませることがないようになってネ。(^^)

